



誠・力・光

令和2年1月24日
練馬区立北町中学校
学校だより 9号

新たな年に

校長 中嶋 雅彦

新しい年を迎え、体育館では、生徒の深々と下げるお辞儀により緊張感を感じ、落ち着いた雰囲気の中で始業式が始まりました。今年は、昨年夏に設置された空調設備により寒さも和らげられ、冷たさを感じることなく式を進めることができました。生徒からは、節目の時を迎え新たな目標に向かう姿がみられました。3年生は、新しい進路を切り拓く大事な時期、期待と不安をもちながらも51日という短い3学期を有意義に過ごそうという姿勢がみられました。

今年は、東京でオリンピック・パラリンピックが開かれる年です。7月24日の開会式まで、もう200日を切りました。オリンピック・パラリンピックが同時に開催されてから2度にわたり会場となる都市は東京が初めてだそうです。本校では、平成29年度に東京都のオリンピック・パラリンピック推進事業である「夢・未来プロジェクト」に参加し、数々のアスリートたちからスポーツを通して経験したことを話していただき自分たちの今後の学習や生きる力の基礎作りに役立っています。また、2階会議室の前には、本校のオリ・パラ教育を掲示してあります。ラグビーについて、今年のスポーツ大会についてなど、新しい情報を授業だけではなく、掲示物などを通して提供しています。子供たちには、今まで学習したことを生かし、この機会を活用して「ボランティアマインド・障がい者理解・スポーツ志向・日本人としての自覚と誇り・豊かな国際感覚」といった5つの資質を育んでいきたいと考えています。そして、次年度の教育課程においてもその取り組みを継続し、盛り込んだ教育活動を推進する予定です。

また、北町中では、始業式の翌週1月14日から3泊4日の2年生スキー移動教室が始まりました。練馬区内で、本年度、最初です。ベルデ武石に宿泊し、番所ヶ原スキー場での実習の予定でしたが、今年は、昨年秋の台風の被害で、被害を受け、スキー場をブランシュ高山に変えての実施です。バスで1時間（雪道チェーンが必要な場合1時間10分）程度の場所にあります。練馬区教育委員会がスキー場の代替場所を探しているときに、「台風被害によって困っている子供たちがいるのならどうぞ使ってください」とスキー場の方は快く受け入れてくれたと聞いています。スキー実習の開講式でも生徒にその話をし、人と人との支えあいが必要なことを肌で感じたことと思います。このスキー移動教室は、実行委員長の足立さんを中心に、11月より計画され、事前学習が進められました。スキー実習も参加したすべての人が3日間を通し、けがや体調不良なく、全課程を終了できました。本校の伝統でもある生徒が助け合い、自らが作り上げるという気持ちをこの移動教室でも発揮することができました。

これからも、あらゆる機会を活用し、これからの社会を生き抜く力を子供たちに身に付けさせていきます。今年も、保護者、地域の皆様の北町中生へのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

